

エポカル武雄だより  
2025年11月第200号



25th Thank you for over 10 million visitors

# エポカル武雄だより 祝 200号

## エポカル武雄 武雄市図書館・歴史資料館だより 第1号

刊行のご挨拶

武雄市図書館・歴史資料館 館長 北村 龍一  
オープン以来、経過3年半を節目に10万人の来館者を迎えましたが、6ヶ月を経て、今年、来館者総数を10万人と達成いたしました。皆様のおかげです。この達成を記念して、本館では「エポカル武雄だより」を創刊いたします。本館の活動や、武雄市の歴史や文化、武雄市の未来について、皆様にお知らせいたします。また、「エポカル武雄だより」は、武雄市の歴史や文化、武雄市の未来について、皆様にお知らせいたします。また、「エポカル武雄だより」は、武雄市の歴史や文化、武雄市の未来について、皆様にお知らせいたします。

**武雄の文化財**  
 編集 北村 龍一  
 発行 2004年3月24日  
 発行時間 午前9時00分～午後5時00分  
 発行日 毎月第1日（土曜日）  
 発行部数 100部  
 発行先 武雄市図書館・歴史資料館 企画課

武雄市図書館・歴史資料館は2000年10月1日に開館し、「エポカル武雄」という施設の名前とともに先月25周年を迎えました。「エポカル武雄」の「エポカル(epochal)」という言葉には、「新時代の」「画期的な」という意味があります。この愛称には、図書館と歴史資料館の融合施設として、来たる21世紀にふさわしい精神的・文化的な活動の場となることへの当時の期待が込められました。

当館では、そんな「エポカル武雄」から名付けられた、「エポカル武雄だより」という図書館や歴史資料館の情報を掲載したおたよりを、2001年から発行しています。2002年からは年に約5回の刊行、2016年からは毎月の刊行を続け、現在にいたっています。

26年目を歩みだした今月、第200号を迎えた「エポカル武雄だより」。これからも皆さまに「エポカル武雄」の情報をお届けします。

**エポカル武雄だより**  
 2004年 3月 14日  
**祝！100万人達成！！**

本館では、開館3年を節目に10万人の来館者を迎え、今年、来館者総数を10万人と達成いたしました。皆様のおかげです。この達成を記念して、本館では「エポカル武雄だより」を創刊いたします。本館の活動や、武雄市の歴史や文化、武雄市の未来について、皆様にお知らせいたします。また、「エポカル武雄だより」は、武雄市の歴史や文化、武雄市の未来について、皆様にお知らせいたします。

▲2004年 第14号  
「祝！100万人達成！！」

**エポカル武雄だより**  
 2013年 10月 1日  
**新たなスタートに当たって**

本館では、開館3年を節目に10万人の来館者を迎え、今年、来館者総数を10万人と達成いたしました。皆様のおかげです。この達成を記念して、本館では「エポカル武雄だより」を創刊いたします。本館の活動や、武雄市の歴史や文化、武雄市の未来について、皆様にお知らせいたします。また、「エポカル武雄だより」は、武雄市の歴史や文化、武雄市の未来について、皆様にお知らせいたします。

▲2013年 第65号  
リニューアル開館  
「新たなスタートに当たって」

**エポカル武雄だより**  
 2014年 10月 1日  
**武雄鍋島家洋学資料が重要文化財に！！**

本館では、開館3年を節目に10万人の来館者を迎え、今年、来館者総数を10万人と達成いたしました。皆様のおかげです。この達成を記念して、本館では「エポカル武雄だより」を創刊いたします。本館の活動や、武雄市の歴史や文化、武雄市の未来について、皆様にお知らせいたします。また、「エポカル武雄だより」は、武雄市の歴史や文化、武雄市の未来について、皆様にお知らせいたします。

▲2014年 第70号  
「武雄鍋島家洋学資料が重要文化財に！！」

**エポカル武雄だより**  
 2014年 第71号  
**「リニューアルオープン 来館者100万人に！」**

本館では、開館3年を節目に10万人の来館者を迎え、今年、来館者総数を10万人と達成いたしました。皆様のおかげです。この達成を記念して、本館では「エポカル武雄だより」を創刊いたします。本館の活動や、武雄市の歴史や文化、武雄市の未来について、皆様にお知らせいたします。また、「エポカル武雄だより」は、武雄市の歴史や文化、武雄市の未来について、皆様にお知らせいたします。

▲2014年 第71号  
「リニューアルオープン  
来館者100万人に！」

**エポカル武雄だより**  
 2017年 10月 1日  
**武雄市こども図書館OPEN**

本館では、開館3年を節目に10万人の来館者を迎え、今年、来館者総数を10万人と達成いたしました。皆様のおかげです。この達成を記念して、本館では「エポカル武雄だより」を創刊いたします。本館の活動や、武雄市の歴史や文化、武雄市の未来について、皆様にお知らせいたします。また、「エポカル武雄だより」は、武雄市の歴史や文化、武雄市の未来について、皆様にお知らせいたします。

▲2017年 第103号  
「武雄市こども図書館OPEN」

**エポカル武雄だより**  
 2025年 11月 1日  
**来館者1000万人達成！**

本館では、開館3年を節目に10万人の来館者を迎え、今年、来館者総数を10万人と達成いたしました。皆様のおかげです。この達成を記念して、本館では「エポカル武雄だより」を創刊いたします。本館の活動や、武雄市の歴史や文化、武雄市の未来について、皆様にお知らせいたします。また、「エポカル武雄だより」は、武雄市の歴史や文化、武雄市の未来について、皆様にお知らせいたします。

▲2025年 第193号  
リニューアル開館後  
「来館者1000万人達成！」

展覧会のご案内 令和7年度武雄鍋島家「重要文化財保存修理10年 繕」  
洋学関係資料企画展

平成26(2014)年、武雄市が所蔵する資料のうち2,224点が「武雄鍋島家洋学関係資料」として国の重要文化財に指定されました。これらの中には、虫損(虫食い)やカビ、水ぬれなどによって汚れたり破れたりしたもの、また長い時間を経て傷んでしまったものがあります。

武雄市では貴重な資料を次の世代に伝え、展示などの活用を進めるために、平成27年から武雄鍋島家洋学関係資料の保存修理事業を進めています。今回の展覧会では、これまでの修理の成果をご紹介します。

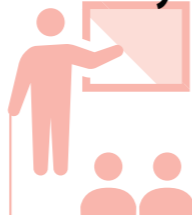
会場 武雄市図書館・歴史資料館 蘭学・企画展示室

会期 11月15日(土)～12月14日(日)

開館時間 日曜日～木曜日：9時～17時 観覧料 無料  
金曜日・土曜日：9時～18時  
※会期中無休

Gallery Talk

学芸員による  
展示解説



11月22日(土)  
12月6日(土)  
14:00～

主催 武雄市、武雄市教育委員会、武雄市図書館・歴史資料館 後援 文化庁、佐賀県 協力 修理工房宰匠株式会社

EVENT ワークショップ「古文書を修理してみよう」

重要文化財を修理される職人さんから、古文書の修理について学び、体験してみませんか？

開催 12月13日(土)

参加費 無料

募集開始 11月5日(水)9:00～

- ①10:00～12:00(一般向け)
- ②14:00～16:00(こども向け)

定員 各10名  
※先着順

申込み 歴史資料係  
Tel.0954-28-9105 ※月曜休館

※一般向けは高校生以上が対象です。  
※こども向けは小学生～中学生が対象です。  
※小学生は保護者様同伴でお願いします。

会場 武雄市図書館・歴史資料館 メディアホール

講師 修理工房宰匠株式会社

展覧資料のご紹介 虫に食べられた資料「万国新話」



▲修理前

平成29年度修理 重要文化財 武雄鍋島家資料(武雄市蔵)

江戸時代の寛政元(1789)年に出版された本でアジアの地理や国々の情報などが書かれています。

虫損(虫食い)により、とても傷んでいました。虫損の原因はシミ(紙魚)やシバンムシ(死番虫)などの紙を食べる小さな虫です。虫損で穴があいた部分は、その形に合った補修紙を作り、一か所ずつ手作業でうめられました。



▲修理後



▲虫損を補修紙でうめる作業

展覧資料のご紹介

シワが目立つ資料 薩州鹿児島見取絵図のうち「鹿児島見取絵図」

令和元年度修理 重要文化財  
安政5(1858)年  
武雄鍋島家資料(武雄市蔵)



▲修理前

安政4年に佐賀藩の千住大之助らが鹿児島へ行った時にさまざまな場所を見学し、その様子を描いたものです。絵図は全部で12枚・18図あり、そのうち「鹿児島見取絵図」には桜島や鹿児島の城下町が描かれています。

シワや絵の具のはがれなどの傷みがありました。長い間折りたたんで保管していたことによるシワは、フラットニングという作業によりきれいに伸ばされました。絵の具のはがれかけている部分には、にかわ水溶液をぬることで絵の具を紙に定着させました。



▲修理後



▲にかわ水溶液を塗る作業

にかわは動物の骨や皮などを水で煮た液を乾かして固めたものです。日本画では、岩絵の具(鉱石が原料の絵の具)を画面に定着させるために、にかわを水でかしたものを岩絵の具と混ぜて使います。

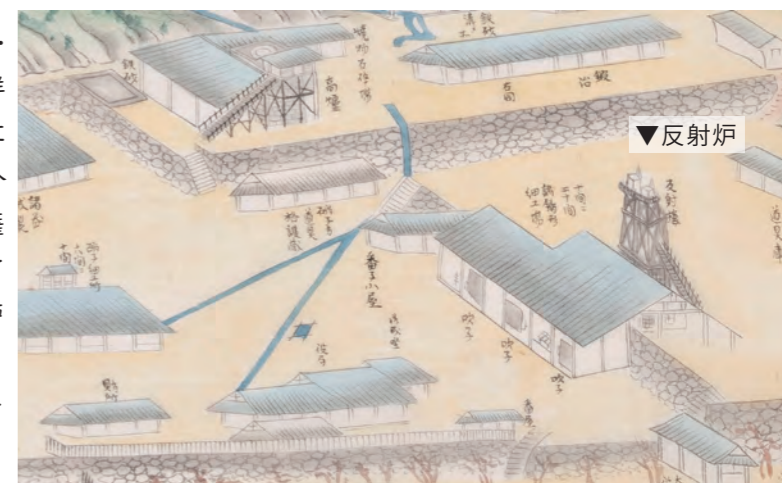


TOPIC 貴重資料！武雄の「薩州鹿児島見取絵図」

「薩州鹿児島見取絵図」には、薩摩藩主・島津斉彬が進めた集成館事業の様子が詳しく描かれています。同様の絵図は鹿児島には残されていないため、集成館事業を紹介する本や博物館の展示などには、武雄の「薩州鹿児島見取絵図」の画像がよく使われています。特に利用希望が多いのが、反射炉が描かれた「[磯別邸の図]」です。

反射炉とは、大砲を作るために必要な鉄を溶かす施設です。

この機会にぜひ実物をご覧ください。



▼反射炉

▲「薩州鹿児島見取絵図」のうち「[磯別邸の図]」【反射炉付近拡大】

# TOPIC データでみる武雄市図書館・歴史資料館のあゆみ

毎年武雄市教育委員会が発行している『武雄市の教育』には、武雄市図書館・歴史資料館の年度別利用状況を掲載しており、入館者数や貸出冊数を数字で一覧することができます。今回は、2000年から昨年度までの利用状況をグラフにまとめ、大きな出来事を併記しました。これまでの歩みを振り返ってみましょう。



発行：武雄市図書館・歴史資料館

武雄市図書館 9:00～21:00 年中無休 TEL.0954-20-0222 Fax.0954-20-0223  
 ホームページ：<https://takeo.city-library.jp/>

歴史資料館 9:00～17:00 月曜休館 TEL.0954-28-9105 Fax.0954-28-9205  
 ホームページ：<https://www.city.takeo.lg.jp/rekisi/his-top.html>

※災害時等、緊急時は休館いたします。

